

# ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2015年2月4日

## 仙台・荒町児童館「うごく絵を作ろう」

切り抜いた厚紙の重ねた部分に千枚通しで穴を開け、割りピンでつなげると出来る可動域。それで動く絵をつくろうというのが、本日のテーマです。

開始時刻前に集まってしまった女の子たちが、まず見つけてしまったのは、花びらのパーツ。それをモールでつなげて、プレスレットや髪飾りなどのつくり方ははじめてしまいます。

で、本当のワークショップは、全員集まった午後2時にスタート。テーブルごとに、犬や猫などの動物チーム。妖怪ウォッチのキャラクター制作チーム。球形オブジェチーム。など、思い思いに作品が出来上がってゆきます。

《最初から何をつくる》と決めて来たらしき女の子は、使う材料も、いるものをちゃんと最初に集めてから作業開始。ものすごい集中力で、誰ともおしゃべりもせず仕上げたのが、様々な飾りがついた蝶々でした。

自分の作品づくりもそこに、弟のためにクワガタをつくった女の子。その後につくったひとりの形の動く絵も、とても細工がこまかくて、びっくりの器用さです。

細長い厚紙の上下をとめて、球形のオブジェをつくりだした女の子たちのグループは、その後の色の付け方や、飾りの選び方に個性が出ましたね。並べて、どこかにぶら下げたら、ちょっとしたインテリアになりそうです。

そして、平面の自動車をそうそうに切り上げ、なんと立体作品に取り組んだ男の子。帰宅時刻を過ぎても終わらず、先生がお母さんに電話を入れ、了解を取り、作品づくり続行。なんと、プロペラが動く、3Dヘリコプターが完成したのでした。

